

次回 第88回 駅から散歩ご案内

記

1. 開催日&集合場所： 令和2年1月25日（土）10時 小田急：片瀬江ノ島駅：改札口：集合
2. 解散場所 & 時刻： 片瀬江ノ島駅（解散12：00予定）
3. オプション： 江ノ島近郊にて 新年会（希望者のみ）
4. 担当幹事： 平塚直 [TEL：090-5445-1032](tel:090-5445-1032) 下條光輝 [TEL:090-5820-9946](tel:090-5820-9946)
5. 主な散策コース

片瀬江ノ島駅 ⇒ 江ノ島神社（辺津宮） ⇒ 中津宮 ⇒ 奥津宮 ⇒ 岩屋（遊覧船乗船） ⇒ 片瀬江ノ島駅

◇江ノ島神社（辺津宮）



朱の鳥居から石段を上り約5分。『田寸津比賣命(たぎつひめのみこと)』をお祀りしています。高低差のある江の島（神域内）では、一番下に位置していることから『下之宮（しものみや）』とも呼ばれ、神社でのご祈祷は主にこちらでご奉仕されます。拝殿前の巾着の形をした珍しい賽銭箱は、相模彫りと言われる独特の彫り物で、地元の商店によって奉納されたものです。

◇中津宮



辺津宮から歩いて約5分。『市寸島比賣命(いちきしまひめのみこと)』をお祀りしています。度々の改修により、元禄二年当時の朱色が鮮やかな社殿を再現。中津宮へ続く参道の両側には、江戸歌舞伎「市村座」と「中村座」が奉獻した一対の石燈籠があり、昭和六十年（1985年）には燈籠奉獻二百年を記念して音羽屋七代目がしだれ梅を植樹。歌舞伎役者の手形も残されています。

◇奥津宮



中津宮から歩いて約10分。島内にある三つのお宮（奥津宮、中津宮、辺津宮）には、三姉妹の女神様が祀られ、ここ奥津宮には一番上の姉神の、『多紀理比賣命(たぎりひめのみこと)』が祀られています。拝殿天井には「八方睨みの亀」が描かれ、奥津宮に向かって右側の燈籠には竜宮の乙姫、左側の燈籠には亀に乗った浦島太郎が精巧に掘り出されています。

◇江の島岩屋



江の島岩屋は波の浸蝕で出来た洞窟で、第1岩屋、第2岩屋という二つの洞窟から成っています。

以上